

審議会等の会議結果報告書

		課所名	生涯学習課
会議名	令和5年度第3回諏訪市子ども読書活動推進委員会 第4次子ども読書活動推進計画 第2回策定委員会		
開催日時	令和5年11月9日(木)午後3時00分～5時00分		
開催場所	諏訪市図書館 第1会議室		
出席者	(出席委員)竹内委員長・矢崎副委員長・市川委員・松井委員・ 後藤委員・加藤委員・八代委員 (欠席委員)赤羽委員・飯田委員・増田委員 (事務局)三輪教育長・細野教育次長・宮阪生涯学習課長・茅野図書館長・宮坂主査 (オブザーバー)草間教育委員		
資料	「第4次諏訪市子ども読書推進計画(素案)」		
協議議題(内容)及び会議結果(要旨) <ol style="list-style-type: none"> 1、開会(宮阪生涯学習課長) 2、教育長あいさつ 3、協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)第4次諏訪市子ども読書活動推進計画(素案)の検討 4、その他 5、閉会(草間教育委員) <主要意見> <ul style="list-style-type: none"> ○「本に親しむ子ども」についての考察部分で、国の調査結果の「本が好き」「平日本を読んでいる」の数字が、全国や県に比べて諏訪市が高いことを受けて「諏訪市の子どもは本が好き」と結論を出しているが、近年は短時間で読める作品が好まれる傾向があり、そのことについても考察部分に追記する必要がある。 ○図書館つかいこなし講座の5学年向け講座(年鑑と統計を扱う)の新設については、現場からの要望に応えたということはわかるが、次回の教科書改訂内容を確認した上で進めたほうが良い。 ○読書バリアフリーの部分で、視覚障がいや肢体不自由について言及しているが、小中学校ではディスレクシアを抱えている子の問題がより大きい。学習障がいや識字障がいについても文言に加えて欲しい。 ○母語を外国語に持つ児童生徒にとって、年齢に合った母語の本も日本語教育のための本も両方必要。一方で、学校図書館の予算内で整備するのは困難。市図書館で整備し、学校配本などで資料を巡回するのが望ましい。また、「デジとしよ信州」の外国語コンテンツの利用も視野に入れたい。 ○今回の計画には「諏訪の子どもが目指す姿」が明確に記されていないように思える。また、子どもが読書をしたその後のアウトプットについての具体策が少ない。第3次の計画の活動を通じて、子どもの読書をサポートする体制は整えられたと思う。それを土台に、「本を読んで、思いや考えを伝える」という次の力を育む方があれば良いと思う。 ○地域学習の実施において、先生方の専門によってばらつきが出る懸念があるが、授業のリーフレットを各学校に配ることである程度解消されるのでは。 ○評価指標について、子ども主体の読書活動を計る指標の設定は、学校司書会など現場の声を聞いて、時間をかけて練るのが良いと思われる。 			